

TAKE
FREE

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER

vol.83
令和2年 秋号

医療センターニュース

特集／インタビュー

忍び寄る 動脈硬化を予防！

news

日本産科婦人科内視鏡学会・
腹腔鏡技術認定医を取得

こにゅうどうくんライナー
運行スタート！

event

生活習慣病教室について

忍び寄る 動脈硬化を予防！

副院長 兼 循環器内科部長

牧野 克俊

当院には、動脈硬化・血管外来という三重県また全国的にも珍しい専門外来を設置しております。なぜ動脈硬化に特化しているのか、そもそも動脈硬化とはどのような状態なのか。当院の循環器内科部長であり、動脈硬化・血管外来の担当医である牧野医師にお話を伺いました。

〈動脈硬化によって引き起こされる疾病例〉

場 所	疾病・症状
首や頭	脳梗塞、脳出血
心 臓	心筋梗塞、狭心症、胸痛
腎 臓	腎硬化、尿毒症
脚	しびれ、冷え

■動脈硬化とは・症状

動脈硬化とは、動脈の血管が加齢などに伴い硬くなっていくことであり、硬くなると同時に、血管の壁にコレステロールなどが沈着すると内腔が狭くなっていきます。進行しても当初は症状がありません。酸素の供給が不足すると、初めて胸痛などの症状が現れます。

全身にある動脈のどこで動脈硬化が起こるかは分かりません。場所によって引き起こされる疾病も異なります。粥腫^(※)の形成と血管内腔の狭窄に続き、粥腫の破裂と血栓形成によって血流が遮断されることで、細胞の壊死と重大な病気が引き起こされることになります。

(※) 粥腫(じゅくしゅ) …血管の内側の壁にコレステロールなどが沈着して塊となっている状態。

■動脈硬化が起こりやすい要因

20歳を過ぎる頃から動脈硬化は始まっていると言われており、様々な要素が関与しているとされています。特に、以下の6つの危険要素を持っている方は普段から十分に注意する必要があります。



動脈硬化と粥腫の破綻
(上段) 粥腫の形成／(下段) 粥腫の破裂と血栓形成



■動脈硬化の予防法

危険要素のうち〈糖尿病・高血圧・高脂血症〉の疾患をお持ちの方は、かかりつけ医のもとでの治療、厳格なコントロールが必要です。〈肥満・遺伝・喫煙〉に該当する方は、危険要素を持っていることを自覚し生活改善に努めましょう。6つの危険要素を持っていない方も、暴飲暴食を控えたり、減塩、定期的な運動を行い、予防に心がけましょう。

■地域の皆様へ

まずは動脈硬化に関心を持っていただきたいです。特に基礎疾患をお持ちの方は、注意をしていただき、定期的な検査をお勧めいたします。実は普段の健康診断では全身の動脈硬化の進行を発見することは容易ではありません。当院の動脈硬化・血管外來は動脈硬化に特化した診療科ですので、ご不安な方はぜひお問い合わせ下さい。ある日突然の発作を未然に防ぐために、症状が無いうちから予防に取り組みましょう。

施設紹介

三重県立総合医療センター 動脈硬化・血管外来

専門外来、設置の背景

日本人の死亡原因の1/3が、動脈硬化に起因する疾患によるものと言われています。動脈硬化は症状もなく気づかぬうちに進行し、命に大きな影響を与えますが、早期発見することで予防・対処が十分に可能です。そこで、当院では早期発見を目的に、県内としては初めて「動脈硬化・血管外来」を平成28年7月に開設いたしました。

動脈硬化・血管外来

診療日： 毎週月曜日の午前中（紹介・予約制）

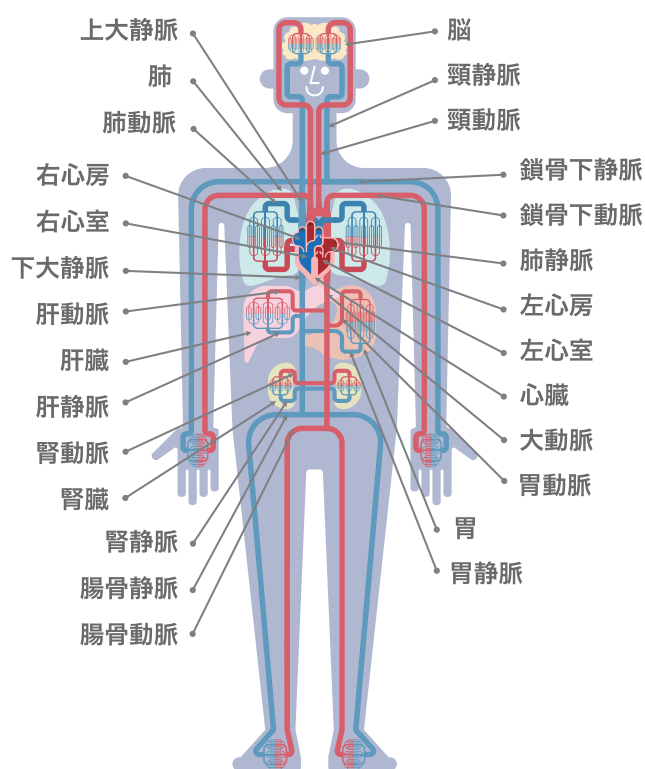
担当医： 牧野 克俊 医師

予約方法： 受診を希望される場合は、かかりつけ医の紹介状を準備いただいたうえで、次の方法で予約してください

- ①月曜から金曜の15時から17時の間に代表番号（059-345-2321）へ電話
- ②「動脈硬化・血管外来の件で循環器内科外来へ」と電話対応者にお伝えください
- ③病院担当スタッフにつながりましたら「動脈硬化・血管外来の予約」とお申し出ください

特長

動脈硬化は全身で進行するにも関わらず、各診療科では全身の血管全体に着目することは多くありません。そこで動脈硬化に特化することで、脳梗塞などに関わる頸部から、下肢動脈までの全身の血管の専門的な検査を行うこととしました。通常、病気は発症してから病院を受診し、そこで初めて治療にかかりますが、事前に検査を行うことで、動脈硬化が引き起こす脳梗塞や心筋梗塞の発生を予防できる可能性があるという大きな



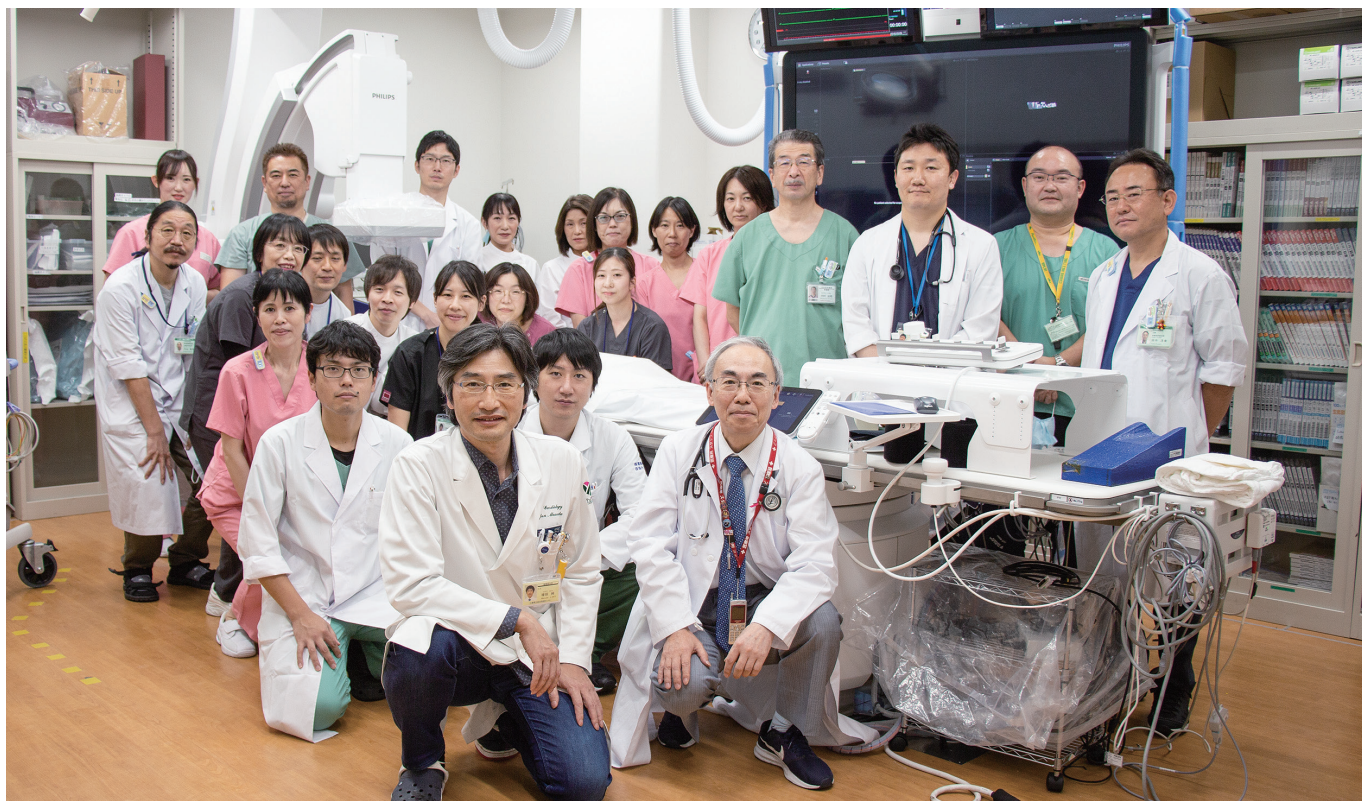
メリットがあります。これらの病気は死亡原因の多くを占めるのはもちろん、動脈硬化が進行することで酸素不足から細胞が死に（壊死）、それぞれの臓器で機能障害が起こります。そこで、早期発見することにより、臓器機能の保持そして健康寿命の延伸も可能となります。

動脈硬化が疑われる場合

まずは検査によって動脈硬化の進行具合をチェックします。異常所見のある場合は、血管造影などの専門的な検査を勧め、内科治療・外科治療が検討されます。

血管造影検査機器（アンギオ装置）の更新

当院では血管の走行を撮影する血管造影検査のための機器を、今年6月に更新しました。スタッフ全員で検査にあたっております。



アンギオスタッフ

アンギオ装置とは血管の形状や異常、血流の状態を造影剤を用いて写す機器です。超音波や赤外線で冠動脈や下肢動脈の様子を確認しながら、ステント治療^(※)を行います。その他にも硬く石灰化している場合や、沈着したカルシウムが出っ張っている場合は血管壁を削ることもあります。症状や病変に応じて治療内容を選択しています。

機器を更新したことにより、血管全体の形や状況をより鮮明に確認することができるようになりました。様々な撮影条件の変更・選択により、細かな異変・ステントの拡張状況を正確に把握し、適正な診断と治療が可能となりました。

(※) ステント治療…ステントと呼ばれる筒状の金網を血管に設置し、狭くなった動脈を広げて、血流を良くする治療。



下肢用ステント



循環器内科医師



アンギオ装置

News

日本産科婦人科内視鏡学会・腹腔鏡技術認定医を取得

産婦人科 服部医師の認定医取得により、 診療体制をさらに拡充いたします

このたび、当院産婦人科の服部日東美医師が日本産科婦人科内視鏡学会・腹腔鏡技術認定医を取得しました。

腹腔鏡手術は開腹手術よりも小さな傷で手術が行えるため、術後の痛みが少なく、早く社会復帰できることが期待されます。当院においても積極的に行っており、今回の服部医師の技術認定医取得により、産婦人科の診療体制がさらに拡充されます。

また、患者さんにとって入院治療や手術をすることは、多くの不安が伴います。当院では、相談しやすい雰囲気や丁寧な説明を心掛け、少しでも安心して治療を受けて頂けるよう、全てのスタッフが一丸となって取り組んでおります。

今後もより良い入院治療や腹腔鏡手術を、より多くの患者さんに提供できるように取り組んでまいります。



News

こにゅうどうくんライナー運行スタート!

10月1日よりバス停「県立総合医療センター」を起点、「小山田記念温泉病院」を終点とする「こにゅうどうくんライナー」の運行が開始されました。

当院を起点としてイオンタウン四日市泊や四日市南部医療モール(貝家町地内)を経由する路線で、国道1号を走る四日市平田線と接続するダイヤでもあるため、当院に来院される場合、ご利用していただくと便利かと思います。

運賃、運行状況等の詳しい情報は、三重交通(株)四日市営業所にお問い合わせください。



問い合わせ

三重交通株式会社 四日市営業所

TEL: 059-323-0808・FAX: 059-231-5201

ホームページ <https://www.sanco.co.jp/>



休診のお知らせ

2020年10月20日現在

耳鼻いんこう科

完全休診

■ 12月24日(木)

■ 12月25日(金)

三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>

都合により変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。



Event

生活習慣病教室について

当院では2ヶ月に1度、生活習慣病教室を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者および関係者の健康と安全を最優先に考慮し、年度内は中止とさせていただきます。

何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

外来診療医師担当表

令和2年11月2日現在

診療科		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科	初診	三 木	山 田	岡 崎	島 田	森 谷
	初診・再診	感染症外来 白木	血液・血栓外来 和田	白 木	西浦／水谷	
消化器内科	初診	森 谷	井 上	山 中	山 中	菅／中澤
	再診	井 上	森 谷	菅	白 木	西 浦
	再診		水 谷		中 嶋	腫瘍内科 齋藤
循環器内科	初診	動脈硬化・血管外来 牧野	加 藤	増 田	林	牧 野
	再診	加 藤	中 澤	谷 垣 内	牧 野	増 田
	再診					増田／加藤
※消化器内科金曜日の3診は、菅が第1週・第3週・第5週を担当し、中澤が第2週・第4週を担当						
呼吸器センター	初診	吉田（紹介診）	吉田（紹介診）	藤 原	寺 島	児 玉
	再診	後藤（初診）	伊藤（初診）	児 玉	伊 藤	三 木
	再診	寺 島		後 藤	吉 田	藤 原
消化器・ 一般外科		1診／毛 利	1診／渡 部	1診／尾 嶋	1診／毛 利	1診（午前）／担当医
		2診／尾 嶋		2診／水 越	2診／橋 本	
		3診／伊 藤		3診／小林／佐藤		
※消化器・一般外科水曜日は小林が第1・3・5週目、佐藤が第2・4週目診察						
小児外科			2診／大 竹			
乳腺外科		予約診／ 乳腺外来（山下）	3診／山 下		3診／山 下 予約診／ 乳腺外来（野呂）	2診／野 呂 予約診／ 乳腺外来（山下）
形成外科				2診／相 野		
心臓血管外科／ 呼吸器外科		1診／近 藤	1診／新 保	1診／澤 田		1診／澤 田
		2診／庄 村	2診／鈴 木			
脳神経外科		1診／黒 田	1診／後 藤	1診／田 代	予約診／担当医	1診／梅 田
		2診／亀 井	2診／田 島			2診／亀 井
						午後 予約制／ 脊椎脊髄外来
脳神経内科		初診（午前のみ）／ 鈴木	予約診／鈴 木	初診／担当医 紹介予約制／ ものわすれ外来（交代制）	初診・予約診／鈴木	予約診／橋
		初診（午前のみ）／堀江	初診／橋		初診・予約診／西垣／堀江	初 診／西 垣
小児科		1診／杉 山	1診／西 森	予約／太 田	1診／太 田	1診／杉 山
		2診／山 口	2診／太 田	予約／杉 山	2診／西 森	2診／鈴 木
		3診／伊 藤	3診／山 口	予約／大 森	3診／大 森	3診／山 口
				時間外・紹介／ 西森／鈴木		
産婦人科		1診（午前）／小 林	1診（午前）／田 中	1診／秋 山	1診／朝 倉	1診／担当医
		1診（午後）／ 母体胎児診断				
		2診（初診）／担当医 （9:30～11:30）	2診／井 口	2診／谷 口	2診（初診）／服部 午後／1ヶ月検診	2診／小 林
		3診／担当医	3診／朝 倉	3診／田 中	2診（午後）／服部 3診／たんぽぽ （助産師）外来	3診／朝 倉
		4診／たんぽぽ （助産師）外来	4診／秋 山	4診／服 部	4診／ リンパ浮腫ケア外来	4診（午前）／担当医
整形外科		1診（午前）／ 北尾（紹介 膝、肩）	1診（午前）／ 北尾（膝関節外来（再診））		1診（午前）／ 奥山（再診）	1診（午前）／ 奥山（紹介、初診）
			1診（午後）／ 北尾（再診）		1診（午後）／ 奥山（再診）	
		2診（午前）／ 柿本（紹介、初診）	2診（午前）／ 服部（紹介、初診）		2診（午前）／ 矢田（紹介、初診）	
			2診（午後）／ 柿 本（再診）		2診（午後）／ 矢田（再診）	
		3診（午前）／ 矢田（リハ、再診）	3診（午前）／ 柿本（リハ、再診）		3診（午前）／ 服部（リハ、再診）	3診（午前）／ 西村（リハ、初診）
皮膚科		1診／中 山	1診／加 古	1診／加 古	1診／中 西	1診／加 古
			午後／褥瘡回診	午後／手術		
泌尿器科		1診／神 田	予約診／ 堀（男性外来）	1診／松 浦	1診／渡 邊	1診／田 中
		予約診／松 浦		予約診／神 田	予約診／田 中	予約診／渡 邊
		予約診／渡 邊		予約診／田 中	予約診／松浦／神田	予約診／松 浦
※火曜日（男性外来）は、第1週、第3週、第5週のみ						
眼科		1診／佐 宗	1診／佐宗（午後休診）	1診／佐 宗	1診／佐 宗	1診／佐 宗
耳鼻いんこう科		1診／鈴 村	1診／鈴 村	1診／鈴 村	1診／鈴 村	1診／鈴 村
精神科		1診／山 下	1診／山 下	1診／山 下	1診／山 下	1診／山 下
放射線科		1診／佐 貫	1診（午前）／ 渡 邊	1診（午前は治療中の診察）／ 佐 貫	1診／佐 貫	1診／佐 貫

※都合により、変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER
TEL.059-345-2321(代表)

— 三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

» 基本理念

1. 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
2. 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

» 基本方針

1. 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
2. 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
3. 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
4. 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
5. 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

— 臨床研修基本理念・基本方針

» 臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

» 臨床研修基本方針

1. 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
2. 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
3. チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
4. 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
5. 医療人としての倫理観を養成する。

編集：地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和2年・秋／発行号
〒510-8561 三重県四日市市大字日永 5450-132
TEL. (059)345-2321(代表) E-mail. sogohos@mie-gmc.jp URL. <https://www.mie-gmc.jp/>
表紙：副院長 兼 循環器内科部長 牧野克俊 写真 [令和2年8月31日(月)撮影]

ホームページ



交通のご案内



三重県立総合医療センター

<https://www.mie-gmc.jp/>

検索